

UNHCR 駐日事務所

〒107-0062  
東京都港区  
南青山6-10-11  
ウェスレーセンター  
Tel 03-3499-2011  
Fax 03-3499-2272  
www.unhcr.or.jp

2017年6月19日

## 【プレスリリース】 グローバル・トレンドズ 2016：強制移動の人数過去最多に、紛争や暴力、迫害で

紛争、暴力、迫害により世界で強制移動を強いられた人は過去最多になりました。

UNHCR が今日発表したグローバル・トレンドズ・レポート（年間統計報告書）によると、2016 年末時点で家を追われた人の数は 6560 万人に上り、2015 年末時点と比べて約 30 万人増えました。世界で極めて大勢の人が保護を必要としていることを示しています。

6560 万人は 3 つの要素（難民、国内避難民、庇護申請者）から成り立っています。まず、難民の数は、過去最多となる 2250 万人に上ります。そのうち、UNHCR のマンドートに含まれる難民は 1720 万人、そのほかは UNRWA の支援対象であるパレスチナ難民です。シリアが最も大きな難民発生国（550 万人）であります。2016 年の一番大きな新しい要因は南スーダンで、和平に向けた努力が続けられていたにも関わらず、7 月から 2016 年末までに 73 万 9900 人が国外に避難しました（今日現在 187 万人）。

2 つ目は、国内で避難を余儀なくされている国内避難民で、2016 年末現在で 4030 万人となりました。昨年は 4080 万人でした。国内避難の問題は世界規模の問題であり、世界で家を追われる人の 3 分の 2 を占め、国内で大規模な強制移動を余儀なくされている人が多いのはシリア、イラク、コロンビアで、最も多くの国内避難民が発生しています。

3 つ目は、母国から逃れ、難民として国際的な保護を求めている庇護申請者です。2016 年末時点の庇護申請者数は 280 万人です。

強制移動は、世界における紛争や迫害による莫大な人的損失につながります。6560 万人とは、平均して、地球上の 113 人に 1 人が避難を余儀なくされていることを意味します。これは世界で 21 番目に人口が多いイギリスより多い人数です。

フィリップ・グランディ国連難民高等弁務官は、「これはとても許しがたい事態であり、人道危機の予防と解決へ向けた連帯と共通の目標がこれまで以上に必要であることを示しています。解決策を模索すると同時に、世界の難民、国内避難民、庇護申請者に適切な保護と支援を提供することが必要です。私たちは支援の手を差し伸べなければいけません。紛争が続く今日に必要なのは、恐怖ではなく、決断と勇気です」と述べています。

今回のグローバル・トレンドズ・レポートには、新たに家を追われた人数は依然として多いということが示され、6560 万人のうち、1030 万人に上ります。その 3 分の 2（690 万人）が国内で避難しています。これは、3 秒ごとに 1 人が新たに避難を余儀なくされることに相当します。この文章を読んでいる間にも新たに何人もの人が移動を強いられることとなります。

同時に、一部の人にとっては難民や国内避難民の帰還、そして第三国定住などの解決策によって明るい兆しが見えた年でもありました。約 37 ヶ国が第三国定住として 18 万 9300 人の難民を受け入れました。約 50 万人が母国へ帰還できたほか、約 650 万人の国

---

UNHCR 駐日事務所

〒107-0062  
東京都港区  
南青山6-10-11  
ウェスレーセンター  
Tel 03-3499-2011  
Fax 03-3499-2272  
www.unhcr.or.jp

---

内避難民が自分たちが元々住んでいた故郷に帰還しました。ただし、多くの人は将来に不安が残り、最良ではない状況での帰還となっています。

2016 年末時点で、世界の難民の 84% が低中所得国に避難しています。後発開発途上国が 3 人に 1 人（490 万人）を受け入れています。この大きな不均衡は、難民受け入れの問題に対して国際的な合意がない状況が続いていることや、紛争地域に貧困国が隣接していることなどが影響しています。難民を受け入れている国やコミュニティに対し着実な支援が必要ということもいえます。こうしたことが行われないと、不安定な状況を招き、結果的に人道支援が必要になったり、相次ぐ強制移動にもつながります。

国別の人口で見ると、シリアが世界で最も多くの避難を余儀なくされている人を生み出しています。人口の約 3 分の 2 にあたる 1200 万人が国内避難民、難民、庇護申請者となっています。パレスチナ難民の情勢以外では、コロンビア（770 万人）が 2 番目、アフガニスタン（470 万人）が 3 番目に多く、イラク（420 万人）、南スーダン（世界で最も急速に強制移動が進んでおり、2016 年末時点で 330 万人）と続きます。

子どもたちは、世界の難民の半分を占め、弱い立場に置かれていることから、不相应な苦しみを強いられています。悲惨にも、7 万 5000 人もの子どもたちが単身で、または親とはぐれてしまった状態で庇護を求めています。レポートでは、実際の数にはさらに多いものではないかと予想しています。

UNHCR では、2016 年末現在で、国籍がない人または無国籍のリスクがある人は最低でも 1000 万人いると予測しています。ただし、各国政府の統計と UNHCR へ報告があった無国籍者の人数は 75 ヶ国 320 万人にとどまっています。

グローバル・トレンド・レポートは、強制移動を統計上の数値として評価したもので、難民を取り巻く世界の出来事は捉えていません。例えばいくつかの国で、難民の受け入れそのものが政治利用される傾向が強まったことや、一部の地域で保護へのアクセスが厳しくなったことなどがあります。一方で、9 月に初めて行われた難民と移民に関するサミットの開催、それに伴ったニューヨーク宣言、包括的難民支援枠組み（CRRF）、そして難民受け入れ国、ドナー国の継続した貢献など、プラスの出来事もありました。

UNHCR は毎年、独自のデータ、パートナー団体の国内避難民モニタリングセンター（IDMC）から提供されたデータ、そして各国政府から提供されたデータを基に、グローバル・トレンド・レポートを作成しています。

▼グローバル・トレンド・レポート（年間統計報告書）2016  
<http://www.unhcr.org/5943e8a34>

本件に関するお問い合わせ：  
広報官 守屋 03-3499-2042